

## 令和 7 年度 男女共同参画局予算額の概要

令和 7 年 1 月  
男女共同参画局令和 7 年度当初予算（案）：15.1 億円  
令和 6 年度補正予算：15.1 億円

## ポイント

- ・令和 7 年度予算案について、前年度予算額（15.0 億円）を若干上回る額を確保
- ・補正予算については、前年度予算額（15.1 億円）とほぼ同額を確保
- ・地域女性活躍推進交付金について、デジタル人材・起業家育成や防災リーダー育成支援を中心に、10 億円程度（当初予算 3.0 億＋補正予算 7.0 億円）を確保
- ・男女共同参画基本計画策定費（当初予算 0.1 億円）確保
- ・性犯罪・性暴力被害者支援交付金について、ワンストップ支援センターにおけるこども・若者、男性等の多様な被害者支援のための体制強化等、過去最大の 7 億円超（当初予算 5.0 億円＋補正予算 2.3 億円）を確保

## 1. あらゆる分野における女性の活躍 13.3 億円

（当初予算 6.2 億円＋補正予算 7.1 億円）

- ・地域女性活躍推進交付金 10.0 億円（当初予算 3.0 億円＋補正予算 7.0 億円）

地域における女性の活躍を迅速かつ重点的に推進するため、関係団体と連携して地方公共団体が行う、女性デジタル人材・女性起業家、「女性・平和・安全保障（WPS）」の観点も踏まえた女性防災リーダーの育成や役員・管理職への女性登用、能登半島地震の影響等により困難や不安を抱える女性への NPO 等の知見を活用した相談支援やその一環として行う生理用品の提供等、地域の実情に応じた取組を支援する。補正予算措置を含め支援。

- ・男女共同参画基本計画策定 0.1 億円（当初予算 0.1 億円）

第 6 次男女共同参画基本計画の策定に向けた公聴会や地方公共団体に対する説明会を開催する。

- ・その他の経費 3.2 億円（当初予算 3.1 億円＋補正予算 0.1 億円）

働き方が多様化する中での女性活躍の推進、女性の参画拡大に向けた取組、地域における女性の活躍推進について、着実に実施するための経費。広報啓発費や出張旅費、人件費等を計上。

なお、各地の男女共同参画センターにおける図書・調査研究業務等の効果的・効率化な進展を図るため、男女共同参画に関する資料のデジタル化及びセンター職員によるその円滑な利活用を実現できるよう、デジタル化の対象や方法、コスト、円滑な利用方法の在り方等について調査研究を行う。

## 2. 性犯罪・性暴力対策、DV被害者支援 16.9 億円

(当初予算 8.8 億円 + 補正予算 8.0 億円)

・性犯罪・性暴力被害者支援のための交付金 7.3 億円(当初予算 5.0 億円 + 補正予算 2.3 億円)

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターについて、次のような都道府県等の取組を支援し、被害者支援機能の強化を図る。

- ・支援員の処遇改善
- ・子ども・若者や男性等の多様な被害者への支援や相談対応に係る体制強化
- ・24 時間 365 日対応化
- ・医療機関との連携
- ・災害時における事業継続のための体制整備
- ・アダルトビデオ出演被害者に対する法的支援 等

・性犯罪・性暴力被害者支援の強化 3.0 億円(当初予算 0.2 億円 + 補正予算 2.8 億円)

被害者が相談しやすい環境整備のため、ワンストップ支援センターへの通話料無料化、SNS相談や夜間休日コールセンターの運用等支援体制の充実を図るとともに、性暴力の被害実態に関する調査等を実施する。

・DV被害者等支援の推進 6.4 億円(当初予算 3.4 億円 + 補正予算 3.0 億円)

配偶者からの暴力(DV)被害者等への支援を推進するため、DV被害者等セーフティネット強化支援事業により、官民連携の下で民間シェルター等が行う取組を推進する地方公共団体への支援等を行うとともに、被害者支援の一環として各地域における加害者プログラムの実施を推進する。また、DV被害者等の保護及び支援の状況等に関する調査研究の実施、配偶者からの暴力(DV)被害者等の多様なニーズに対し、適時適切な支援につながりやすくするため、24 時間対応の電話、SNS・メール等の多様なツールによる相談体制を整備するなど、支援体制の更なる充実・強化を図る。

・広報啓発の強化 0.2 億円(当初予算 0.17 億円 + 補正予算 0.04 億円)

配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力等の暴力は、重大な人権侵害であることの社会全体の認識の向上を図り、そうした暴力の予防と根絶に係る啓発や、被害に遭っている人やその関係者への情報発信等の一層の周知の実施等、広報啓発の強化を図る。